

# 平成23年度 第1回 学校運営協議会議事録

平成23年5月10日（火）19:00～20:30

於：秋津小学校 2階 会議室

司会：山口，桐生 記録：川井

## <参加者>

- |                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ◇桐生庸介（秋津小 PTA会長）                 | ◇脇坂祥子（秋津小 PTA副会長）           |
| ◇鮎川由美（秋津まちづくり副議長）                | ◇山下 晃（学校体育施設利用団体代表，地域住民）（欠） |
| ◇原田靖久（社会福祉協議会秋津支部長，地域住民）         | ◇福山宗起（秋津小学校長，学校職員）          |
| ◇山口喜弘（秋津小教頭，学校職員）                | ◇小関秀夫（学校支援ボランティア代表，校長推薦）    |
| ◇天笠 茂（大学教授，学識経験者）                | ◇長安 誠（教育委員会指導課長，行政機関職員）     |
| ◇麻生美智子（人権擁護委員・学校支援ボランティア代表，校長推薦） | ◇浅野目俊紀（教育委員会青少年課長，行政機関職員）   |
| ◇橋村清隆（秋津コミュニティ代表，校長推薦）           | ◇浦野 哲（秋津小教務主任，学校職員）         |
| ◇川井由紀（秋津小研究主任，学校職員）              |                             |

## I 習志野市教育委員会から

- 1 指定書辞令交付
- 2 教育総務部長より

秋津小は，県内唯一のコミュニティスクール。地域と学校が一体となった学校作りを更に進めてほしい。

## II 自己紹介

校長挨拶

職員が個性を発揮し，子どもと一体となり教育活動を展開している。更によりよい方向にしていいただくために，御指導，御鞭撻をお願いいたします。

## III 第1回学校運営協議会会議

- 1 役員選出

委員長 桐生 庸介さん 副委員長 鮎川 由美さん

- 2 報告事項

- (1) 第三回学校運営協議会

別冊資料にもとづいて，山口（教頭）が提案。

- 3 協議事項

- (1) 平成23年度学校経営基本方針について

別冊資料にもとづいて，福山（校長）が提案。

- ①新学習指導要領の施行
- ②震災を経て，防災計画の推進
- ③昨年度末に行った学校評価の結果を生かして

上記の三点をふまえ，八つの項目を重点とすることとした。

- (1) 「地域の風がいきかう学校づくり」の一層の推進
- (2) 新学習指導要領の趣旨に基づく教育課程の編成及び実施
- (3) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る「わかる授業」の推進
- (4) 心豊かな児童を育む教育の充実
- (5) 体育及び健康・安全教育の充実と体力向上の推進
- (6) いじめ0・不登校0を目指した教育の推進
- (7) 安全でうるおいのある環境整備の推進
- (8) 教職員の資質や指導力の向上を図る研究・研修の充実

- 天笠 たくさんありますが、こここそ重点というものがあれば、教えてください。
- 校長 知・徳・体 を育てるため、授業を大切にしていきたい。「資料の(3)(4)(5)」
- 天笠 授業を大切にしていくことは、学校として中核にあたるもの。重点的、具体的に進めていただければ、と思う。
- 小関 学校便りにも、理科支援のボランティアが紹介されていた。工夫されているのだと思う。校内研を秋津小でどのように行っているのか、興味があり、パートナー会議でもお聞きした。昨日、クラブの支援員として将棋クラブの子どもたちに関わったが、落ち着きのなさが気になった。朝読書を取り入れているようであるが、それ以外でも落ち着くような工夫をしていただきたい。
- 校長 新指導要領が施行させ、内容がふえ、教科書が変わった。昨年度までにも移行期間として、指導する内容を少しずつ変えてきた。教師も研修はしてきている。ただ、若い先生も増えてきたので職歴に応じた研修をしていきたい。子どもたちに落ち着かない様子は、多少見受けられる。基礎、基本の上に子ども同士の関わりを授業の中でも大切にしていきたい。また、地域の方との交流を通すことも合わせて自尊感情を育てたい。
- 長安 子ども達を落ち着きかせるためには、学習習慣づくりが大切。指導課として、日頃の授業をサポートしていきたい。
- 原田 ばか面踊りを7年間指導してきた。その年その年の3年生の雰囲気が違う。先生の熱心さが大切だと思う。どれだけ熱っぽく子どもたちに対するのかが、大切だと思う。
- 浅野目 青少年育成の立場から、いじめ・不登校に対しては、児童を細かく観察していく必要があると思っている。そして、子どもが楽しいと思える学校作りをしていただきたい。
- 橋村 昔から、読み・書き・そろばんというが、わかる授業は大切だと思う。先生方の教える技能の向上も大切と思う。
- 麻生 「学校は楽しい。」となるようにコミュニティースクールがスタートした。学校が楽しければいじめも0となる。昨年度から体育になった。何をやっているのかわからないという親御さんや子どもさんもいたようだ。学校の方針を変えるときは、何をやっていくのか発信してほしい。
- 鮎川 授業の充実は大切。重点を短文にして示していただけると地域にも子どもたちにもわかりやすい。学校評価をしやすくなる。
- 校長 学校経営の重点を8つあげたが、全てを今年だけで達成できるわけではないと考えている。10年先を見て、考えている。今年度特にということをまとめます。
- 浅野目 保護者に説明するのですか。
- 校長 6月の授業参観と懇談会の時、お知らせする予定です。

この後、学校経営基本方針は、承認された。

## (2) 今後の活動方針について

別冊資料にもとづいて、山口(教頭)が提案。

- 浅野目 パートナー会議でアンケートの内容を決めるとあるが、どのような会議なのか。
- 鮎川 この会議を受け、具体的なことを考えていきます。月1回開いています。
- 長安 学校評価のアンケートを分析していく時に視点をどう持つかによる。「8割以上○ならよしとする。」ということではない。残りの2割の意見や気持ちにも目を向ける必要がある。
- 麻生 学校のお手紙を支援ボランティアにも配布してほしい。
- 桐生 PTAの広報から回してもらえるようにします。

## 4 その他

### (1) 次回開催日

10月18日(火)

# 平成 23 年度 第 2 回 学校運営協議会議事録

平成 23 年 10 月 18 日 (火) 19:00~20:30

於：秋津小学校 2 階 会議室  
司会：山口、桐生 記録：川井

## <参加者>

- |                                    |                             |
|------------------------------------|-----------------------------|
| ◇桐生庸介 (秋津小 PTA 会長)                 | ◇脇坂祥子 (秋津小 PTA 副会長)         |
| ◇鮎川由美 (秋津まちづくり副議長)                 | ◇山下 晃 (学校体育施設利用団体代表, 地域)    |
| ◇山口喜弘 (秋津小教頭, 学校職員)                | ◇福山宗起 (秋津小学校長, 学校職員)        |
| ◇原田靖久 (社会福祉協議会秋津支部長, 地域)           | ◇小関秀夫 (学校支援ボランティア代表, 校長推薦)  |
| ◇天笠 茂 (大学教授, 学識経験者)                | ◇長安 誠 (教育委員会指導課長, 行政機関職員)   |
| ◇麻生美智子 (人権協議委員・学校支援ボランティア代表, 校長推薦) | ◇浅野目俊紀 (教育委員会青少年課長, 行政機関職員) |
| ◇橋村清隆 (秋津コミュニティ代表, 校長推薦)           | ◇浦野 哲 (秋津小教務主任, 学校職員)       |
| ◇川井由紀 (秋津小研究主任, 学校職員)              |                             |

## I 平成 23 年度 秋津小学校 運営の実際と成果・課題について

- 1 校長あいさつ
- 2 運営の実際と成果・課題  
校長提案 資料 1 参照

### 3 協議

- 脇坂 課題がもう少し出てきたらよい。  
先生方の思いをもっと具体的に知りたい。地域の者と先生方が話す機会が少ないのではないか。
- 教頭 自分の学年に関わってくくださる方はわかっているが、それ以外の先生方にも保護者の方にもコミュニティースクールのことを宣伝していく必要がある。
- 鮎川 危機管理の意識が高まった。避難訓練、津波への対応を学校が一步踏み込んでやってくれた。地域としてできることを考えていきたい。  
今まであまり交流がなかったが、津田沼高校との訓練の計画はよいと思う。
- 教頭 備蓄食料を用意した。  
海辺のコンサートにも津田沼高校が参加する。
- 脇坂 図書館の整備、充実をしてもらえるとよい。  
ノートのとり方を先生方が意識していけば、スムーズに高学年にいけると思う。
- 桐生 学力の向上・成果はどうなっているのか。  
徳の部分については、他から打たれ強い子になって欲しい。
- 教頭 1 学期の成果のとりまとめをして、2 学期の指導にあたっているところ。  
徳育については、いやなことをされていないか、していないかアンケートをとりながら指導にあたっている。学校として P T A の皆さんと協力して皆さんが感じていることを伺いながら進めていきたい。
- 長安 地域と学校双方向の関わりが必要。地域からの協力はあがるが、学校から地域への関わりをもう少し考えなければならない。学校から地域に向かってできることもある。  
若い先生方にも学校は、地域に向かって出て行くものという感覚を持ってもらう。  
学力向上については、市でも行っている。課題をしっかりと持つことが大切。どういう授業をするか考えることにつながる。  
いじめなどに対して真剣に考えているかが、グラフの右側に傾いている。教師の意識を変えていく必要もある。
- 浅野目 体力がないと知恵がついていかない。有名選手を招いた。→興味を高めるよい取り組み。  
いじめに関しては、いじめる側にいじめているという感覚がない。しかし、いじめられた側は、一生残る。先生方には、課題を整理してじっくり取り組んでもらいたい。
- 教頭 教育相談月間を設け、取り組んでいる。教師の側からすると、他を思いやる気持ちが育っていないと感じている。不登校については今年はいない。中学でも少しずつよくなっている。

## II 平成23年度 秋津小学校 学校評価について

### 1 学校評価

浦野提案 資料2 参照

### 2 協議

- 天笠 先生方の自己評価を我々はどう評価できるのかが大切。授業を見せていただくことによ  
ことを通して、評価できるのではないか。このアンケートの結果をどう生かしていくか
- 桐生 11月26日(土)授業参観日に来ていただければ。
- 天笠 授業の見方の研修をこのメンバーでしていただきたい。
- 校長 11月9日は公開研究会。11月に授業参観があるが、来年は、1学期にも行うとよいの  
かもしれない。
- 天笠 今まで他校で行ったことのあること。2泊3日ぐらい登校から授業、部活動などを見て  
報告書を作る。
- 麻生 七中も評議委員会が保護者会の時に授業を見せてもらった。
- 教頭 今までは関わっていただいている学年だけで、学年をまたがって見ていただいたことは  
なかったかもしれない。
- 天笠 先生方もなれてくるのでは。
- 橋村 私も行かなかつたと再認識しました。
- 長安 他校は、評議委員の方に授業を見てもらうようにやっているところが多い。
- 小関 授業に対して自分が評価するのは大変。評議委員になったからには、授業を見る力をつ  
けなければいけないと考えている。新学習指導要領を授業の中で評価する自信がない。
- 天笠 我々は、先生方と同じレベルに立つことはしなくていい。我々の立場で評価できればい  
い。
- 長安 先ほど出てきたノート指導に絞って見てもらったり。姿勢・鉛筆の持ち方など、授業に  
接していないから見ていただくと逆にいい。
- 鮎川 「秋津まつり」子どもを全面に出しているが、先生方を地域の人たちに紹介する必要も  
あると感じている。

## III 大津波発生時における第2次避難及び引き渡し計画(第1次案)について

### 1 東日本大震災を教訓として

教頭提案 資料3 参照

### 2 協議

- 麻生 原田さんが被災地に出向いたので、話を聞くことで危機管理につながるかもしれない。
- 天笠 14号までどれぐらいあるのか、危険ではないか。
- 教頭 秋津小が避難所にならないとしたらやはり移動すべき。
- 鮎川 それで、津田沼高校生に助けてもらおうと。
- 天笠 保護者の方に引き渡す。警報発令中は引き渡せない。地域の人と共通理解を。
- 桐生 それを保護者に周知しないと。
- 浅野目 津田沼高校の生徒に助けてもらうのはどうなのかと思う。
- 天笠 時間によって、いろいろな状況はある。
- 鮎川 避難訓練は、一度やっておくとよい。
- 教頭 可能性の中での一つのアイデアだと思う。
- 桐生 まずは、授業参観を見ていただいて実態を見ていただきたいと思う。

# 平成 23 年度 第 3 回 学校運営協議会議事録

平成 24 年 2 月 28 日 (火) 19:00~20:30

於：秋津小学校 2 階 会議室  
司会：山口、桐生 記録：川井

## <参加者>

- |                                    |                               |
|------------------------------------|-------------------------------|
| ◇桐生庸介 (秋津小 PTA 会長)                 | ◇脇坂祥子 (秋津小 PTA 副会長)           |
| ◇鮎川由美 (秋津まちづくり副議長)                 | ◇山下 晃 (学校体育施設利用団体代表, 地域民)     |
| ◇山口喜弘 (秋津小教頭, 学校職員)                | ◇福山宗起 (秋津小学校長, 学校職員)          |
| ◇原田靖久 (社会福祉協議会秋津支部長, 地域民)          | ◇小関秀夫 (学校支援ボランティア代表, 校長推薦)    |
| ◇天笠 茂 (大学教授, 学識経験者)                | ◇長安 誠 (教育委員会指導課長, 行政機関職員)     |
| ◇麻生美智子 (人権協議委員・学校支援ボランティア代表, 校長推薦) | ◇浅野目俊紀 (教育委員会青少年課長, 行政機関職員) 欠 |
| ◇橋村清隆 (秋津コミュニティ代表, 校長推薦)           | ◇浦野 哲 (秋津小教務主任, 学校職員)         |
| ◇川井由紀 (秋津小研究主任, 学校職員)              |                               |

## I 委員長挨拶

秋津小は、インフルエンザで学級閉鎖がない。

PTA の加入について朝日新聞が「任意に」という記事を掲載している。PTA のあり方を考えていかなければいけない。

## II 校長あいさつ

大きな事件や事故がなく 1 年が終わろうとしている。次年度の経営について皆様の意見を参考に行っていきたい。

## III 報告

- (1) 平成 23 年度 第 2 回学校運営協議会議事録について (浦野)

資料 1 参照

- (2) これまでのパートナー会議および教育活動について (教頭)

資料 2 参照

- (3) 習志野市学校運営協議会を置く学校の指定の継続について (教頭)

資料 3 参照

長安 県教育委員会と相談して市の教育委員会会議の中でも承認を受けた。

学校運営協議会を通して、できることを探っていただきたい。

地域も主体となって学校運営をしているところが違う。

学校長が思い描いている学校にしていくためにどうやっていくのかともに考えられるとよいのだと思う。

3 年後に指定を受けるのか受けないのかも検討していただきたい。

- (4) 「大地震・大津波対応マニュアル」の制定について (教頭)

資料 4 参照

原田 どの範囲までのマニュアルなのだろうか。

津田沼高校も七中もと、地域に広められるとよい。

教頭 津田沼高校にも話して、共通理解している。

鮎川 ホームページにもありますか。

教頭 あります。

鮎川 ライフラインが止まってしまうと、市と連絡できる状態になっているのかわからない。防災無線があるといい。

長安 内線電話でつながっている。

原田 習志野の市の放送は少し聞きづらい。

長安 これから連絡方法は広がっていく。

#### IV 協議事項

##### (1) 平成23年度後期 学校評価について (浦野)

資料5 参照

#### 協議

- 原田 学校評価はほかの学校でもやっているのか。16校のレベルは同じなのか。  
長安 内部、外部、第三者という学校評価はやらないといけない。また、どこも公開している。課題を見つけてこれからどうしていくのが大切。  
「伸びた→よくなった」という見方だけでなく、「そう思わない・思わない」と回答した子どもが5人いたらそちらの方にも目を向けなければいけない。
- 原田 教育問題を扱うテレビ番組を見た。教育は大変。16校違うのか。  
長安 運営については違いがない。学校評価はやらないといけない。ある部分は16校共通していて、ある部分は、学校のカラーを出してやっている。
- 天笠 国の学校評価ガイドラインはしっかりしてきている。  
教頭 自己評価(先生方)学校関係者評価、その自己評価は是か非か。それを問うには、わかりやすい資料を作るとよい。まだ、少々難し過ぎるかもしれない。試行錯誤しながらだんだん整ってきてここまできたと思う。学校側が、学校関係者に何を問いたいのかももっとはっきりしていくとよい。もっと簡略化して、学校目標ができたかどうか見れるとよい。
- 桐生 学校目標、学者融合など観点を絞ったらどうか。  
橋村 だんだんわかりやすくなっていると思う。  
天笠 先生方は、「3」のところ集中している。なぜ、「4」にいかないのか。そういうところを聞かせてください。などの質問ができるといい。
- 桐生 来年度、質問できるようにしていきたい。  
「わからない。」と答えている保護者がこんなにいるのかと思うと、子どもに感心がないのかと思ってしまう。
- 長安 確かに、「わからない。」と答えるしかない項目もある。  
天笠 授業参観、運動会などの後にアンケートをとるなどもした方がよい。毎回、このようなアンケートをとらなくてもよい。
- 教頭 授業参観後もとってはいる。  
長安 「わからない。」ということはどういうことなのか検討する必要がある。  
教頭 「わからない。」は昨年比べて減ってきている。情報発信してきたからだろう。  
長安 減多にこない親に対して「話し合い活動を通して～」ということは、わからないにせざるおえない。親は何を判断できるのか、授業についてはわかりづらい。項目の質問はどうだろうか。
- 教頭 保護者のわかりづらい、というご指摘をいただいたので、今後検討していきたい。  
天笠 紙を使っての質問だけではわからないこともある。モニター性にしてもよい。生の声を聞くとよいのではないか。無理のない範囲で工夫してみてもどうか。
- 原田 今年、小1～小6。高校生の授業も見せてもらったが、先生と子どもたちが向き合っていて授業をしているところがとてもよかった。

##### (2) 次年度の学校評価計画について (教頭)

資料6 参照

##### (3) 次年度の学校運営の重点について (校長)

資料7 参照

#### 協議

- 鮎川 保護者に説明する機会はあるのか、表現が難しい。もう少し単純にしてくれた方がよい。  
校長 6月に説明している。  
小関 理解できない。10の項目を列挙しているが、具体的な教師の姿がうまくイメージできない。

校長 若い教員がますます増えてきた。この項目を目指してほしいなあ、というねらいがある。チームとして協力していくことが大切であるので。

天笠 こういう先生になってほしい、という校長先生の願いがあるのではないだろうか。あつてよいと思う。めざす保護者像も作るとよい。先生方ばかりに要求するのは、もしかしたら問題かもしれない。秋津地域の大人像というものがあってもよい。

原田 何でも学校、というのは違う、と私も思う。

麻生 子どもが挨拶をしても、親がキョトンとしている時もある。

桐生 地域のお手伝いをしている方を親がわからないこともある。発信していきたい。

天笠 それぞれの項目が関わり合いながらある教師像だと思う。

桐生 挨拶でつながっていく地域にしたい。

天笠 学校だけでなくつながっていったらよいと思う。

橋村 地域の大人像を考えるのはおもしろい。

原田 保護者像は親としてどう考えるかを作るとよい。

教頭 PTA で毎年作っているスローガンが近いかもしれない。

鮎川 モニターを集めて考えていってもよい。

原田 親が自分で考えることは大切。子どもに甘すぎる。子どもにはもっと求めてもよい。

桐生 人任せのなところがあるかもしれない。

教頭 次回 第1回の開催日 5月8日(火)